

第1回アジアジュニアソフトテニス選手権大会要項

1. 大会名： 第1回アジアジュニアソフトテニス選手権大会
2. 主催： アジアソフトテニス連盟 (ASTF)
3. 主管： フィリピンソフトテニス連盟 (PSTA)
4. 後援： フィリピンオリンピック委員会 (POC)、フィリピンスポーツ委員会 (PSC)
5. 競技日程： 2019年8月26日(月)～31日(土)
6. 会場： コレジオ サン アグスティン 室内全天候テニスコート 11面
サンホセ デルモンテ市、ブラカン州、フィリピン
7. 宿泊： コレジオ サン アグスティン寮、ドーム他
8. 競技種別：
 - ① Under 12 男女各ダブルス&シングルス
 - ② Under 15 男女各ダブルス&シングルス
 - ③ Under 18 男女各ダブルス&シングルス
 - ④ Under 21 男女各ダブルス&シングルス
 - ⑤ Under 12 から Under 21 での男女団体戦
9. 競技日程：

日程	内容
August 26 (月)	- マニラ国際空港到着 - 大会会場への移動
August 27 (火)	- 監督会議 - 開会式 - 個人戦男女ダブルス
August 28 (水)	- 個人戦男女シングルス (1日目)
August 29 (木)	- 個人戦男女シングルス (2日目)
August 30 (金)	- 男女団体戦
August 31 (土)	- 帰国

10. 参加資格：

参加選手は、大会に招待された国/地域の連盟より承認された選手。すべてのASTF加盟国/地域は、招待される。

11. 参加選手の年齢制限：

- ① Under 12：2007年1月1日以降に生まれた選手
- ② Under 15：2004年1月1日以降に生まれた選手
- ③ Under 18：2001年1月1日以降に生まれた選手
- ④ Under 21：1998年1月1日以降に生まれた選手

12. 参加数：

- ① ダブルス：最多1か国男女各4ペアまで（ただし男女各カテゴリー毎に2ペア以下）
- ② シングルス：最多1か国男女8選手まで（ただし女各カテゴリー毎に4選手以下）
- ③ 団体戦：男女各1チーム（監督1名、3～8名の選手、最大9名）
- ④ 個人戦は、1名から申込できる。選手はすべての種別合計で、最大16名（男女各々8名）の申込みが可能。
- ⑤ PSTA（フィリピン連盟）は、開催国ということで、上記記載参加数の2倍の参加数が認められる。
- ⑥ 個人戦は、各カテゴリーの参加が8選手（シングルス）、8ペア（ダブルス）未満の場合は、年齢の高いカテゴリーに組み入れる。
- ⑦ 団体戦は、ASTFより数か国の混成チームを編成及びカテゴリーを分けて実施する場合があります。
- ⑧ 個人戦は、ASTFにより追加して参加させる場合がある。
- ⑨ 上記①～⑤の人数以上の他の選手、マネージャーやコーチの参加要望がある場合、ASTFは、全期間通しての追加役員、選手については、1名250米ドルの参加費支払いの条件にて、その参加を認める。但し、それは最終申込みの数により判断される。もし、最終申込み数が予想数を超えた場合は、追加申込みは自動的に取り消される。

13. 申込：下記宛名に、メール、ファックス、郵便のいずれかで送付される。

アジア連盟宛て

info@astf.asia

tel: +81-3-6417-1654

fax: +81-3-6417-1664

住所: Room 201, 1-16-2, Ooi, Shinagawa-ku, Tokyo 140-0014, Japan

14. 申込み期限：

第1次申込（参加、不参加の意思表示）は、2019年4月30日（火）迄とする。最終申込（各種別への選手名）は、2019年6月30日（日）とする。

15. 競技規則：

競技は、現行のISTF競技規則に基づいて進められる。公用語は英語とする。

16. 競技方法：

競技方法は、申込み締切り後の総参加数を元に、最終決定される。ダブルスは、7ゲームマッチとする。但し準決勝、決勝は、9ゲームマッチとする。シングルスは全て7ゲームマッチで行われるが、シングルスの参加数が予想より多くなった場合は、5ゲームとする場合もある。

17. レフリー、アンパイア：

すべてのレフリーとアンパイアは、ASTFとPSTAにより指名される。

しかし、すべての種別の第1ラウンドから準決勝は、審判技術の向上を目的に、選手が審判の役割を果たす、いわゆるセルフ審判とする。

全ての種別の決勝は、本部審判が、担当することとする。

18. 使用球：

本大会の使用球は、ASTFにより決定される。

19. 表彰：

各種別において、1位、2位、3位が表彰される。全ての選手にディプロマが、贈呈される。

20. 参加費用：

① 中国、中華台北、韓国、日本

男女各々、監督1人、選手8人以内の最大18名：1人250米ドル

※宿泊、3食、現地での交通費含む。

② 中国、中華台北、韓国、日本の4か国以外

男女各々、監督1人、選手8人以内の最大18名：1人100米ドル

※宿泊、3食、現地での交通費含む。

③ 上記①②を超える参加者及び所定の期間の前後の費用については、それぞれの国の負担とする。この費用は1人250米ドル(1日1人50米ドル)で宿泊、3食、現地での交通費を含む。

21. フィリピン滞在での費用：

① 往復航空券は、参加国各自にて負担される。

② 競技大会期間中の輸送、食事は、全てASTF、PATAが負担する。

③ もし参加者が自分でホテルを手配した場合は、そのすべての費用と交通費はそれぞれの参加国にて負担する。